

小学校

南種子町の思い出

六年A組 佐藤 羽ぬる

私の南種子町の思い出は、南種子町の友達ができたことです。行く前は仲良くなれるかどうかがとても不安でした。だけど、目が合って、

「一緒にいこう。」

と誘ってくれました。とてもうれしかったです。見学をしているときも、話しかけてくれたり、わからないところを教えてくれたりしました。

特に楽しかったことは、宇宙技術館に行ったことです。宇宙技術

館は、ロ

ケットの

部品やロ

ケットに

関するも

のがあり

ます。そ

の中でも、

写真を撮

るとまる

で宙に浮



いているように見える場所があり、南種子の友達と一緒に写真を撮りました。とても面白くて、心に残っています。

帰りには、手を振ってお別れをしました。とても短い時間だったけど、とてもいい思い出になりました。

南種子町での研修を振り返って

六年B組 栗本 朔弥

ぼくの一番の思い出は、マンダグロブパークと千座の岩屋です。マンダグロブパークでは、マンダグロブとその近くに生息していたカニを観察しました。

マンダグロブは十メートルぐら

いの高さがあると思っていました

が、五十センチメートルぐら

いなく驚きました。種子島のマン

ダグロブは、あまり大きくならな

いメヒルギという品種だとガイド

さんが教えてくれました。マンダ

グロブにも種類があることなど新

たな発見が多かったので、よかつ

たです。

もう一つが、千座の岩屋です。

千座の岩屋では、岩屋や海、生物

を観察して楽しめました。海がきれいで、貝の数に驚きました。ぼくはとても自然が好きなので楽しかったです。岩屋の中はとても涼しかったです。

今回の

研修は忘

れられな

い思い出

になりました。

南

種子町の

文化や生

活をみん

なにも伝

えていき

たいです。



南種子町で学んだこと

六年B組 加藤 寛翔

ぼくは、南種子町の農業をテーマに学んできました。

まず、赤米について学んだこと

は様々な品種があり、稲はとても

長く大きいということです。長さ

は約一メートル六十センチメー

トルあるそうです。南種子町で交

流した友達から詳しく教えてもら

いました。そして赤米を食べると、

思ったよりもちもちしていて、おいしかったです。

次にサトウキビについてです。

サトウキビは一本一本がとても長いので、二十センチメートルずつ

カットして食べるそうです。交流

した友達に、食べ方を教えても

らって食べると、固かったけど甘

くておいしかったです。昔はおか

しだったそうです。

今回の研修で、南種子町の気候を生かした食べ物について学ぶこ

とができました。事前に調べたこ

とが役立ったたり、違っていたり、

新しく知

ったりす

ることが

たくさん

ありまし

た。この

経験をこ

れからも

生かして

いきたい

です。





中学校

九年間の仲間たちへ

九年A組 伊藤 凜

私たち、飛鳥学園九年生はもうすぐ卒業。この九年間は本当に長かった。その幕が閉じると思うと少し悲しい。私の九年間の思い出は、毎日四十六人と一緒に過ごした学校生活。今思うと小学生の時のみんなはとても可愛い。無邪気で、元気で、がやがやしてた。けれど今のみんなは自分の生きたい道に進むため、考え、そして頑張っている。また、九年間ずっと一緒にいたからこそ、仲間への思いやり、団結力がとても増し、特に今年はみんなとの仲が最高に深まった気がする。仲が深まるまではとても時間がかかった。一年ごとにクラス替えがあるため九年間一緒にのクラスという人はほとんどいない。そんな中でも、たくさんぶつかり合い、泣いたり、笑ったりしてみんながみんな成長することができた。卒業した後は、みんな自分の道へ進んでいく。遠い高校へ行く子にはほとんど会えない。

い。九年間一緒にいたから、離れるのは寂しいし、高校に行くのが少し怖い。だって、今までずっと一緒にいたのに離れ離れになるから。でも私は四十六人に出逢えてよかった。最高の九年間だったよ。ありがとう。また会う日まで。



今を励む

九年B組 高橋 慶多

中学校を卒業する時期を迎え、「もう終わりか」という寂しさと「これから何を頑張ろうか」という期待の入り混じった複雑な心境

です。

中学生としての生活の中で、部活動や勉強などから学んだものが多くありました。部活動からは仲間と協力することの難しさを、勉強からは努力が結果として実ることの喜びを学びました。もちろんこれらの経験がここで終わるとは思っていません。学んだことをこれからも生かせるように頑張ろうと思っています。

私は普段過去に執着することも、未来に期待を膨らませすぎることもしないようにしています。未来のことを英語で「フューチャー」と言いますが、それに対して現在のことを「プレゼント」と言います。周囲の環境や親しい人からの贈り物である「今」を大切にすることこそが、自分の人生をより良い方向へいざなってくれると私は信じています。

これからは周りの環境も関わる人々もガラッと変わり、現在とは違う「今」が待っています。それを精一杯楽しもうと思います。

飛鳥学園 3月の行事予定

- 3日(火) 学園卒業式㊥
初等部家庭学習日㊤
- 5日(木)・6日(金)
公立高校A入試㊥
- 9日(月)・10(火)
公立高校B入試㊥
- 19日(木) 小学校卒業式㊤
- 24日(火) 修了式・閉校式㊥㊤

